

授業科目名 ( 英文名 )	ビーム応用工学講究 (Advanced Applied Beam Engineering)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1・2・3年次 前期
担当教員	橋本 智	所属	高度産業科学技術研究所、 材料・放射光工学専攻
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	加速器やレーザーを用いた新しいビーム光源に関する原著論文を講読し、その内容の理解を通じて先端的放射光源の原理・開発状況・新しい応用研究手法の習得を目的とする。		
講義内容・授業計画	本講義では 第1回～15回で使用する原著論文は主として以下の研究分野のものを用いる。 ・高周波電子加速器 ・放射光と自由電子レーザーの進展 ・加速器ガンマ線源とその応用研究 ・小型電線型加速器による様々なテラヘルツ光放射技術とその応用研究		
テキスト	担当教員より原著論文を配布する		
参考文献	担当教員より紹介する		
成績評価の基準・方法	成績評価の基準： 新光源における放射光の発生原理やその特性を理解できる者に単位を授与する。模擬目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じてSからCまで成績を与える。 成績評価の方法： レポート（100％）を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 ・当授業は原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場合があります。自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない		
備考	ニュースバル放射光施設 <a href="http://www.lasti.u-hyogo.ac.jp/NS">http://www.lasti.u-hyogo.ac.jp/NS</a>		